



光村の「国語」

移行期の指導のために

光村図書出版株式会社

たがやせ！ 論理的思考力

▼論理的思考力とは、ひと言で表せば、物事を筋道立てて考える力といえます。筋道立てて考えるには、ある事柄と事柄を「関係づける」力が必要です。例えば、**比較**して共通点や相違点を明らかにする、特徴やまとまりごとに**分類**する、時間や事柄の**順序**に並べる、などです。

今、国語科だけでなくすべての教科・学習場面を通じてこうした「関係づける力」すなわち論理的思考力を強化していくことが求められています。

▼21年度版光村の「国語」には、**論理的思考力を培う教材**が豊富にそろっています。「比較」を例にみてみましょう。

文章の中身そのものが比較しながら述べられているもの(★)には、1下「どうぶつの赤ちゃん」や4下「アップとルーズで伝える」などがあります。

学習活動の中で、比較して考えることを求めているもの(♪)には、3下「ちいちゃんのかげおくり」、6下「やまなし」などがあります。

比較	★1下説明文「どうぶつの 赤ちゃん」 ♪3下話す・聞く「名前をつけよう」 ♪5上話す・聞く「人と『もの』との付き合い方」 ★6上説明文「生き物はつながりの中に」	♪3下文学「ちいちゃんのかげおくり」 ★4下説明文「アップとルーズで伝える」 ♪6下文学「やまなし」 など
順序	★2上説明文「たんぼぼの ちえ」 ♪3下書く「せつめい書を作ろう」	★2下説明文「一本の木」 ♪3下書く「たから物をさがしに」 など
分類	★3上話す・聞く「『分類』ということ」 ♪5下話す・聞く「『失敗』をめぐって」	♪4下書く「生活を見つめて」 など



▼21年度版光村の「国語」では、「文と文」「段落と段落」「テキスト(相手)と自分」を**関係づける**ことも丁寧に扱っています。

— 文と文 —	— 段落と段落 —	— テキスト(相手)と自分 —
<ul style="list-style-type: none"> ・ ____ それで ____ ・ ____ でも ____ ・ ____ なぜなら ____ ・ ____ つぎに ____ <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題提起と答え ・ 事例1と事例2 ・ 根拠と主張 ・ データと理由づけと主張 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知っていたことと知らなかったこと ・ 同じ考え、違う考え ・ 明らかになったこととならなかったこと <p style="text-align: right;">など</p>

たがやせ！ 論理的思考力

比較

1下「どうぶつの 赤ちゃん」


	生まれたばかりのようす ライオンの赤ちゃんは、 生まれたときは、子ねこ ぐらいの大きさです。
	しまうまの赤ちゃんは 生まれたときに、もう やぎぐらいの大きさが あります。

順序


2上「たんぽぽの ちえ」

▼たんぽぽは、どんな ときに、どんな ようすを して いますか。かわって いく じゆんじよに 気をつけて よみましょう。

春に なると




↓



↓

「春」になると
や「二、三日」た
つとは、「とき」を
あらわしているね。



分類

3上「『分類』ということ」

次の絵にかかれたねこを、二つか三つのグループに分けましょう。



論理的思考力を培う
光村の教材群